

# 小児科医師も患者も反対している こども病院の人工島移転は撤回せよ

## 日本共産党 星野美恵子市議が 吉田市長を追及

星野美恵子市議は3月18日の条例予算特別委員会総会で、こども病院の人工島移転について質問しました。「人工島移転に反対する世論が高まっている」と述べて、市内の小児救急医療体制の配置バランスが崩れ、空白地域が生じることから、多くの小児科医師が反対していること、交通アクセスの悪さなど問題点を詳しく指摘しました。

### 市長「審議会の答申後に決定」

質問に対し当局は言い訳に終始し、まともな反論はありませんでした。星野市議は「人工島はこども病院の整備場所としてふさわしくない」と述べ、市長に撤回を強く迫りました。

市長は「審議会に諮問しておりその答申をいただいた後、市としての方針を総合的な観点から決定していく」と答弁しました。

日本共産党は、こども病院の人工島移転反対の市民運動と共同してがんばります。



質問する星野市議

星野市議は3月18日の質問で患者家族のみなさんの声を紹介し、「吉田市長を応援し、当選して移転がなくなったと喜んだみなさんに、市長はどう釈明するのか。見捨てるのか。患者の意見を無視せず聞くべきだ」と市長に迫りました。

### 患者家族のみなさんが 5万6390人署名を提出

その後の3月21日、患者家族のみなさんがかねてより要望していた市長との面会が実現し、集まった反対署名5万6,390人が直接手渡されました。



## なぜ、こども病院を人工島に？

# 市長は市民の疑問に答えよ

こども病院の人工島移転を強行しようとする市に対し、各界から「待った!」の声があがっています。日本共産党の星野美恵子市議は、医師や患者、こども病院関係者などから指摘されている多くの問題点をあげて「これだけの疑問を無視して強行することは許されない」と市長を追及しました。

## 配置バランスが崩れる

こども病院や九大小児医療センター、地域の小児科医院が連携して、市内の小児救急医療体制が築かれています。こども病院を今の場所から東区の人工島へ移転させれば、この配置バランスが崩れてしまいます。

## 小児医療の空白ができる

拠点病院を失うことで小児医療の空白地域が生じるとして、市内の多くの小児科・産婦人科の医師がこども病院の人工島移転に反対を表明し、市長に申し入れもしています。



## 子どもの命に関わる

もっとも影響を受けるのが患者とその家族です。しかし、市はその声を聞いていません。子どもである患者は1分1秒を争う緊急搬送のケースも多く、自宅などから遠くなればなるほど命に関わります。また、患者と家族は、重い病気の子どもを見守る地域のあたたかいつながりの中で生活しています。それを捨てて人工島近くに引っ越せと言えるでしょうか。

## 医師・看護師の納得えられない

こども病院にとって最も大切な医師、看護師。その多くは緊急呼び出しにこたえるために病院周辺に居住しています。人工島に移転されれば出勤時間のリスクを負うか、転居するか選択が迫られます。「人工島なら辞めるしかない」という声も上がっています。

## 大規模地震に機能するか？

人工島は3本の橋でしか行き来できません。阪神大震災のとき、ポートアイランド(人工島)にあった神戸中央市民病院が孤立し医療活動がマヒしました。大規模地震のときに機能しない可能性が高いのが人工島です。

## 救急ヘリには最悪の場所

市の「検証・検討」は、人工島ではヘリポートが設置可能だという点を高く評価しています。しかし、人工島上空は福岡空港の離発着コースにあたり、管制下にあるため、たとえ救急ヘリであっても上空で何分間も待機させられることがあるといいます。これでは最適どころか最悪の条件です。

他にも人工島がこども病院にふさわしくない理由が様々指摘されています。人工島移転計画は撤回するしかありません。